



“大磯を元気に！”

旧吉田茂邸の再建に向けて

大磯町長 三好正則



あけましておめでとうございます。

夢のある年に

昨年の総選挙では、十六年ぶりの政権交代となり、まさに激動の年となりました。この新年が大磯町にとって、元氣な夢のある年であることを衷心から願っております。

昨年は厳しい経済情勢がいつそう深刻化した中で、様々な緊急雇用対策や定額給付金の交付、プレミアム付商品券の発行など、町民の生活を経済面で支援する諸施策を実施してまいりました。

フットワークの良い

まちづくり

四月からスタートした機構改革による新体制のもと、将来を見据えた観光行政や環境対策の拡充、また、防災対策室やすぐやる室を設けるなど、地域に、いつそう密着したスピード感のあるフットワークの良いまちづくりを進めていきます。

旧吉田茂邸の

再建に向けて

また、昨年、国民的資産であ

った旧吉田茂邸を焼失するとう、まさかの大きなできごとがありました。その再建は、多くの町民をはじめ、県民、国民の皆様の悲願であります。再建に向け、引き続き絶大なご支援をお願いしてまいります。

防災対策の拡充

さて、今年も引き続き、「環境」「観光」「教育」の三事業を重点施策に掲げるとともに、今年は特に防災対策にも諸施策を展開し、安全・安心なまちづくりに全力を傾注してまいります。

エコのまち 大磯の実現を

また、エコのまち大磯を目指して、バイオマスタウン構想を掲げ、ごみの減量化・資源化に取り組むとともに、里地里山保全や遊休農地、荒廃農地の解消に向けた取り組みなど、町民の皆様と協力して進めてまいります。

地産地消の推進

農業・漁業の活性化については、海産物を直販できる「海の駅」、また農産物を直販できる「陸（おか）の駅」を設け、地産地消の仕組みをつくって、食育を推進。町民の皆様の食の安心、安全を図っていく所存です。

体験型観光の推進

観光については、夢のある観光立町を目指し、大磯の歴史・文化的な資源や自然を町内外にPRし、大磯港を観光拠点として「海の駅」や「陸（おか）の駅」を取り込んだ体験型観光の企画・立案をしていきます。町民の皆様と観光客がともに楽しめる観光行政を進めていきたいと考えています。

教育環境の充実

教育については、特に幼児教育においては民の活力を借り、多くの知識や経験を身に付けることができる教育環境を整備してまいります。

スピード感のある

行政を

地域主権の名のもとに、地方分権はいつそうスピードをあげて進んでくると思われます。町としても、いつそうのスピード感を持って、行政に取り組むとともに、今後とも事業仕分けを徹底。行革を推し進め、地方分権時代に応えることができない「コンパクトで元氣」な町づくりを目指す必要があります。最後にありますが、みんなが笑顔であいさつできる、明るく元氣な充実した年になるよう心からお祈りいたします。